

1. 法人理念

Smile to Everybody みんな笑顔に

私たちは、1人1人が自分の仕事に誇りをもち、内発的な動機付けに基づく自己成長を続けることで、自分自身も含め、関わる人皆が笑顔になれるような環境を創っていくことを目的とします。

① 内発的な動機付け

私たちは誰かに言われてやらなければならない仕事としてではなく、仕事自体に対する絶え間ない勉強・改善・行動により、自らも成長していきます。その結果よりよいサービスを提供することで、笑顔の連鎖がはじまると考えています。

② 皆が笑顔になる

私たちは、子どもだけでなく、保護者、クラス、各園、事業部、法人、取引先を含めて笑顔になる環境を創ります。皆が適正な利益をシェアしながらそれぞれに対してよい環境づくりをすることで、お互いが共生していく状態が永続的になることを希望します。

2. 法人ビジョン

幸せを広げよう

対顧客：選択肢や機会を見つけるサポーター

何かチャレンジしたいことができた時、より多くの選択肢を見つけられるようにサポートを行います。実際に出来るようにするための行動も支援します。

対社員：自ら考え、主体的に行動できる場

仕事を楽しんで行えることを目指します。
対人の仕事は正解がないだけに、どれだけでも可能性は広がられます。そのために、心理的な安全性が担保され、お互いに信頼しあい助けあいながらチームとして仕事ができるような組織にしていきます。

対社会：喜びや笑顔の起点

私たちは、サービス提供を通じて、自分自身も含め、より良い人生を過ごすサポートを行います。
家族や地域へも良い環境を提供していくことで、社会へ貢献していきます。

3. 経営方針 - 職員への約束 -

自ら考え、主体的に行動できる場に

① 心理学的アプローチを含めたより良い労働環境

心理的安全性を高めるための「on」の導入などを用いることで、法人内の人間関係が良い状況になる教育・制度を積極的に取り入れます

② 心と体にゆとりを持てるように、残業や持ち帰りのない体制

基本定時に帰り、園内で準備も完了する体制をつくります。有給・産休・育休なども取りやすくし、ライフプランに合わせた働き方ができる制度と雰囲気醸成します。

③ ICTを積極的に取り入れ、効率的な運営体制

管理職者を含み、事務作業の削減をアウトソーシングを含めすすめ、本来業務（利用者へのサービス提供）に時間とエネルギーを使えるようにしていきます。

④ 経営状態に連動して、個人の努力も評価される報酬体制

早番、遅番や急な対応への目に見えない運営への貢献、日常業務で優秀・優しい人に集まりがちな業務負担に関して、期末賞与で還元できる体制をつくります。

4. 行動哲学

「社会福祉法人松壽会の職員としてふさわしい3つの行動規範」
職員一人ひとりが 3つの行動哲学を体現することを通じて、社会福祉法人松壽会らしい文化がつけられます。この文化そのものが、お客様・社会に伝播し、目的・目標が達成される土壌が形成されていきます。

① 尊重 (Respect)

私たちは、価値観の違いをお互いに認め合います。

自分と関わる人々の様々な 価値や文化の違いを受け入れ、自分の価値観も受け入れてもらいながら、自分自身の視野を広げ、人とのつながりを深め、温かい人間関係を構築していくことです。

② 応援 (Cheer)

私たちは、いつも前向きな姿勢で互いに助け合います。

子ども、保護者、クラス、各園、事業部、法人、取引先など関わる人全てを助け、支え、励まし、自らの前向きな姿勢を通して相手に対してポジティブな影響を与えることです。

③ 感謝 (Appreciate)

私たちは何事にも感謝し、どんなことにも楽しみを見つけながら働きます。

目の前の業務にただ取り組むのではなく、自ら主体的に意味づけをして取り組むことで、自分自身の幸福感も高め、関わる人に笑顔が広がるようにしていくことです。

5. 人材育成方針

価値感の違いを認めながら、ホスピタリティを
発揮し、楽しみながら自ら前に進んでいける人

相手の立場を考え、細かい配慮を行います。

相手の話を尊重し、真剣に聞くことで、相手の要望や感情を理解しようとしています。

相手の良い点を見つけ、それを褒めることで、相手の自尊心を高めます。

そのうえで、自分自身で判断・選択をし、組織や社会のためなることを積極的に行動していき、いつも笑顔の人材です。

① 自主性を重んじる

言われたからやるのではなく、自ら判断・選択できるようにします。

これには失敗が許容される環境であることも必要です。また他の人に協力を得られやすいことも重要です。

② 多様な価値観に関して知る機会をつくる

人種・性別・年齢・居住地など様々な価値観があることを知っていくことが重要です。そのために労働環境（時間）の改善や、性格診断、Ioniなどスタッフ同士、お互いをよく知っていくのが必要です。残業をしないのも、（育児や介護含め）残業ができない人への配慮でもあります。

③ 新しい情報を積極的に採り入れる

積極的な研修への参加、新しい取り組みをまずはやってみる姿勢、ICTの活用（新機能の利用など含む）などを評価していきます。

6. メッセージ

自ら考え、判断し、行動する自律的な人

周りの人に笑顔をもたらす明るく優しい人

日々熱心に学ぶ人

豊かで楽しい人生を過ごす人

未来のために尽くす人

ソウイウヒトニミンナデナリタイ